所管課	健康長寿部いきいき高齢課

施策の大綱	まちづくりの目標(章)	施策分野(節)	施策
	第2章 共生共感都市	04 高齢者福祉	02 健やかで安心できる暮らしを支援する

事業：介護予防支援事業

整理番号 1452

目的

高齢になっても、認知症になっても、いつまでもいきいきと地域で生活するための健康づくりをすすめる。

目標

モックル介護予防体操の普及
高齢者のタッチパネルの利用を進める。

事業費・財源

事業費(決算額)(千円)	5,331
財源内訳 一般財源	0
財源内訳 国府支出金	5,331
財源内訳 地方債	0
財源内訳 その他特定財源	0

コスト情報・評価

総コスト(千円)		6,856
内訳	事業費	5,331
内訳	人件費	1,525
内訳	公債費	0
一人あたり(円)		61
世帯あたり(円)		145

総合評価：B

妥当性	A
効率性	A
有効性	B

評価理由：適正に事業を実施できたため。

貢献度

施策に対する事業貢献度：A

根拠：「モックル介護予防体操」の普及が高齢者の介護予防に貢献できるため。

今後の方向性

モックル介護予防体操を普及するために、気軽に参加できる「モックル介護予防体操講座」を開催し、普及を図る。体操講師の地域への派遣も継続して実施する。認知症予防・早期発見のためタッチパネルを積極的に活用する。

事業優先順位 1

細事業：介護予防支援事業

整理番号 01

目的

手軽に介護予防体操ができ、認知症になってもいきいきと生活ができる。

目標

「モックル介護予防体操」のリーダー養成、講師派遣、DVD、CDを配布し、普及に努める。

事業実施主体	直営	事業開始年度	平成24年度	根拠法令	

事業費・財源

	平成25年度	平成24年度	比較
事業費(決算額)(千円)	**5,331**	**3,727**	**1,604**
財源内訳 一般財源	0	1	−1
財源内訳 国府支出金	5,331	3,726	1,605
財源内訳 地方債	0	0	0
財源内訳 その他特定財源	0	0	0
	0		
	0		

コスト情報・従事職員数

		平成25年度	平成24年度	比較
総コスト(千円)		6,856	6,901	−45
内訳	事業費	5,331	3,727	1,604
内訳	人件費	1,525	3,174	−1,649
内訳	公債費	0	0	0
一人あたり(円)		61	61	0
世帯あたり(円)		145	146	−1
参考	職員数(人)	0.20	0.40	−0.20
参考	再任用職員数(人)	0.00	0.00	0.00

今後の方向性

モックル介護予防体操を覚えてもらうために、学ぶための教室を開催する。地域で覚えて実施してもらうために、講師の派遣も継続して行って普及していく。

評価

妥当性	効率性	有効性	対象者
A	A	A	65歳以上の高齢者　約30,000人

事業：介護予防支援事業

１．介護予防支援事業

高齢者になってもいつまでもいきいきと暮らしていただき、介護が必要な状況になるのを予防するための事業を行った。

細事業：介護予防支援事業

１．モックル介護予防体操　　委託料２，８０７，０００円

高齢者にいきいきと暮らしていただくために、平成２４年度に作成した市オリジナル体操「モックル介護予防体操」の普及のため、ＮＰＯ法人河内長野市総合スポーツ振興会に委託して事業を実施した。

①ＣＤ・ＤＶＤの配布

おおむね６５歳以上の市民にＣＤ・ＤＶＤを作成し、解説図を添えて配布した。

配布枚数　ＤＶＤ　１，００６枚

ＣＤ　３１６枚

②リーダー養成講座

１講座２回で４種類の体操を学ぶ。

５クール開催し、１１３名のリーダーを養成した。

③リーダーフォローアップ講座

体操の復習やリーダーのスキルアップのための講座を開催した。

参加人数（実）　５５名　（延べ）８８名

④講師派遣

地域で活動するグループへ体操の講師が出向き指導する。

２９回派遣した。

２．認知症予防　　備品購入費　１，９３３，０４３円

高齢者が気軽に自分の認知機能を測定し、認知の低下等に早期に気づき、相談機関等に相談にいくことができるように、平素から利用する市役所・福祉センターに認知機能を測定するタッチパネルを常設した。また、人が多く集まるイベントでも設置した。

利用者数（延べ）　３，２５６人